



2023-2024 年度 RI テーマ: CREATE HOPE in the WORLD

世界に希望を生み出そう

ガバナー方針: 「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ!!」

クラブ方針: 「50 年の継承、100 年への継続と希望」



名古屋空港ロータリークラブ

事務局/ 名古屋市中村区名駅 3-11-13
レジデンス鈴木 1101
【TEL】 052-446-6811 【FAX】 052-446-6812
E-Mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp
会長/ 阿萬 裕子
幹事/ 伊藤 康司
公共イメージ向上委員長/ 伊東 由之
例会日/ 毎週月曜日 12:30~13:30
例会場/ 名古屋マリオットアソシアホテル

第 2156 回例会

2024 年 1 月 29 日 (月) 第 22 回

- 司 会 SAA 大河 裕之 君
- 点 鐘 会 長 阿萬 裕子 君
- 斉 唱 ロータリーソング 「それでこそロータリー」
「スキー」
- 例会行事 外来卓話
- ゲスト 大山川ホテルの会 会長 ^{なかね こうしろう} 仲根 弘志郎 様
株式会社 仲根石工造園 代表取締役

会 長 挨 拶

名古屋空港ロータリークラブ 会長 阿萬 裕子 君



先日は小委員会に多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。

本日は、ロータリーの倫理と高潔性について取り上げさせていただきます。

ロータリーはその目的として「職業上の高い倫理基準」と「職業を高潔なものにすること」を掲げています

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」としています。

具体的には、ロータリーの目的の第 2 として、「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」を奨励しています。

倫理と高潔性とは何でしょうか？

「倫理」は「社会生活で人の守るべき道理。人が行動する際、規範となるもの」とされます。社会的な規範から要請されるものといえます。

「高潔」は「人柄がりっぱで、利欲のために心を動かさないこと」とされます。人格（良心・真心）から発露するものといえます。

ロータリアン（ロータリークラブの会員）は、職業において倫理と高潔を実践するということです。コンプライアンスは法令順守と訳されますが、法令だけでなく、倫理感といった社会的な規範を守り、さらには、高潔性といった真心から正しい思いを抱き、一貫して正しい行いをするということです。

私たちは、クラブ活動の土台となる 5 つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。

①クラブ奉仕は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。

②職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てるということです。

③社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。

④国際奉仕は、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。

⑤青少年奉仕は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

現在、会員間の連絡をスムーズに行えるように LINE グループを作成しています。

未登録の方は是非登録をお願い致します。公共イメージ向上委員長の伊東から個別にご連絡させていただきます。

再度のご案内になりますが、インターアクトの活動が 2 月 4 日（日）14 時から春日井市の総合福祉センターで行われます。

人数が多い方が盛り上がるため是非参加をお願いしたいと要請を受けていますのでご協力をお願い致します。



委員会報告

● 出席報告（井上 辰男 君）

本日の例会（オンライン参加1名）

会員数	50	名	出席率	88.10	%
出席者	出席義務者	26	欠席者	出席義務者	5
	出席免除者	11		出席免除者	8
	出席合計	37		欠席合計	13

前々回例会（1月10日）

会員数	50	名	出席率	88.64	%
出席者	出席義務者	24	欠席者	出席義務者	5
	出席免除者	15		出席免除者	6
	出席合計	39		欠席合計	11

● ニコニコボックス報告（井上 辰男 君）

本日は大山川ホテルの会 仲根弘志郎様、卓話宜しく願います。 阿萬 裕子 君

仲根様、本日の卓話楽しみにしています。伊藤 康司 君

仲根さん ロータリーにようこそ。本日の卓話楽しみにしています。 伊東 由之 君

仲根さん、本日は宜しく願います。 北園 守生 君

仲根様の卓話宜しく願ひ致します。 菅沼 智大 君

仲根様 卓話宜しく願ひ致します。 真城 壮司 君

今日も元気で！

市川 孝 君	稲熊 正徳 君	稲吉 将秀 君
井上 辰男 君	今村 佳保里 君	入谷 宏典 君
大河 裕之 君	大野 和宏 君	片山映理子 君
大野 和宏 君	片山 映理子 君	金井 和治 君
國田武二郎 君	栗田 和典 君	近藤 和彦 君
栗田 和典 君	鈴木 恵一 君	高山 光雄 君
田邊 雅彦 君	照井 通夫 君	戸谷 仁美 君
中島 俊朗 君	中林 正人 君	早川 正倫 君
原田 好展 君	松井 ゆか 君	三好 潤 君
安江 寛二 君	安川 正勝 君	山内 佳紀 君

本日の協力	33 名	44,000 円
本年度の協力累計		1,102,000 円

ご協力ありがとうございました。

「外来卓話」

大山川ホテルの会 会長

なかね こうしろう

仲根 弘志郎 様 担当:社会奉仕委員会

「～地域の魅力に気づき、

地域の未来を築く～

大山川から生まれる地域の絆」



仲根弘志郎 プロフィール

- 1974年生まれ 49歳 小牧市池之内在住
- ・愛知県立稲沢高等学校 造園土木科卒
- ・18歳で造園業の道に入り、株式会社仲根石工造園代表取締役
- ・篠岡小中学校PTA会長、県立春日井高等特別支援学校PTA会長、
- ・（一社）小牧青年会議所 専務理事
- ・大山川ホテルの会 会長
- ・小牧市消防団分団長、（特）小牧市民活動ネットワーク理事
- ・登録者数38,000人を超えるyoutuber



身近な存在だが意外と知らない大山川

延長15.2キロ。

小牧市東部を源流とし、豊山町・北名古屋市・名古屋市を流れ合瀬川と合流する1級河川

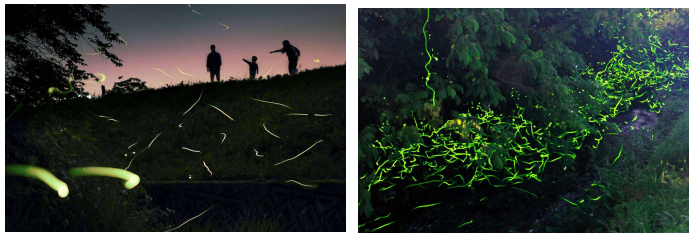
皆様の活動拠点を流れる大山川。

その源流はホテルの名所として広く認知されつつあります。

6月、小牧の夜を彩る大山川源流域

無数に飛び交うホテルを見るために、県外からも人手が押し寄せる6月の大山川。

しかし、ここまでの道のりは、多くの人々が汗を流した苦闘の歴史があったのです



大山川ホタルを撮影した一般写真家より、ホタルの会へ寄贈された写真

先人達の想いがホタルを救う

1970年代、名古屋近郊でとりわけ多く生息していた大山川上流部のホタルが、高度経済成長による土地開発と、強い農薬によって絶滅の危機に陥った・・・

しかし

小牧市東部に住む30代から40代の子を持つ親達が「我が子のためにホタルを残したい」という想いに小牧市内の全PTAが共鳴し、「大山川の自然に親しむ会」が結成される。

30年の懸命な活動・・・

そして深刻な事業承継問題へ

順調にホタルは増え、知る人ぞ知るホタルの生息地にはなったものの

- 会員の高齢化
- 慢性的な資金難
- 長年の活動によるマンネリ化

様々な負担が増え、次第に活動が停滞し始める

ついにバトンを受け取る時が来た

PTA・消防団・JCなど、共に活動した仲間に声を掛け、2016年に結成されたのが大山川ホタルの会

30年前に我々の父親世代が、我が子の為にホタルを残そうと尽力した様に、急激に進行する地域の衰退を何とか食い止めたい！



30年前に我々の父親世代が、我が子の為にホタルを残そうと尽力した様に、急激に進行する地域の衰退を何とか食い止めたい！

誇りと魅力を伝えて地域活性化

大山川ホタルの会スローガン

地域の魅力に気づき、地域の未来を築く

- 他団体と積極的に連携
 - 行政を巻き込んで市内外に情報拡散
 - イベントの開催
 - 学校や児童館で子ども達と直接触れ合う
- 自分達だけでやらずに、多くの人達と共に活動の輪を広げる

これまでの活動①

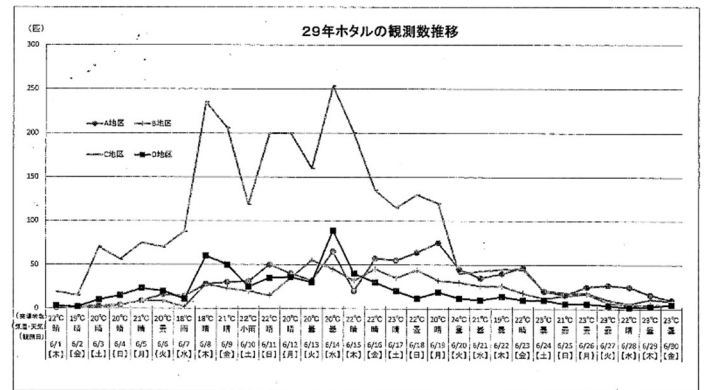
行政・学校との協働で組織のブランド力・集客力向上



地元小学校とカワニナ放流



地元小学校にて出張授業



小牧市に飛翔状況の提供

これまでの活動②

影響力を持つ地域団体と様々なコラボレーション

様々な団体の事業に参画し、協力関係を構築

小牧市民活動
ネットワーク 様

小牧ライオンズクラブ 様



小牧ロータリークラブ様



小牧青年商工会議所様

これまでの活動③ マスコミ戦略で認知度拡大



地域の魅力に気づき、地域の未来を築く
後世にホテルを残すため尽力した父親達の意志を受け継ぎ、今我々は次世代に地域の魅力を伝えるべく活動を展開しています。
子や孫達、そして地域の子どもが、そんな大人の姿を見て、愛する故郷に誇りと魅力を抱いてくれるのであればこれほど嬉しいことはありません。



これまでの活動④ 独自イベントの開催



これまでの活動⑤ 年間を通じての河川内外の環境整備と観測調査

